

## 平成23年度三重県総合防災訓練（名張市・伊賀市）基本方針（案）

### 1 目的

平成23年度三重県総合防災訓練は、防災関係機関等相互の連携を強化しつつ、より実践的な訓練を実施して災害対策基本法、三重県地域防災計画、参加市町防災計画等の円滑な運用に資することを目的とし、東日本大震災の教訓を反映させた訓練を実施する。

- (1) 県民の自主防災活動に関する意識高揚
- (2) 防災関係機関、医療機関等の連携強化
- (3) 即応型訓練の実施による防災活動に関する技術向上

### 2 主催

三重県、名張市、伊賀市、三重県消防長会

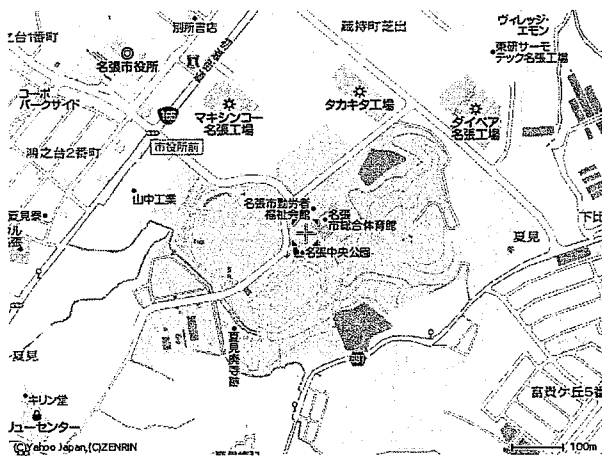
### 3 後援

三重県消防協会

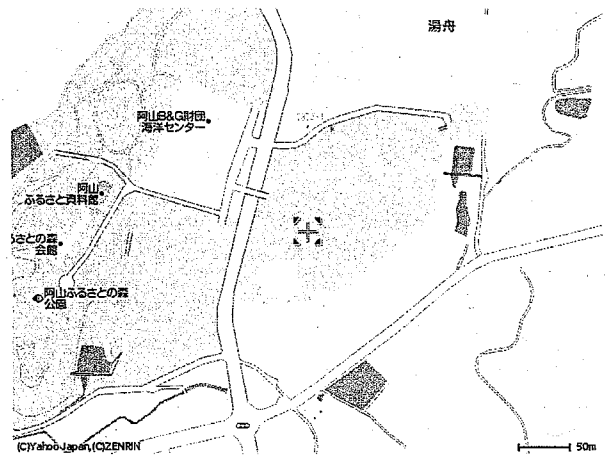
### 4 実施日時

平成23年9月4日（日） 9時00分～12時30分

### 5 実施場所



・名張市 名張中央公園



・伊賀市 阿山運動公園

## 6 被害想定

伊賀地方に停滞する前線が刺激され、9月2日から局地的な豪雨となり河川水位も急上昇し避難判断水位に達しつつあるなか、9月4日9時00分、三重県西部を震源とする内陸直下型地震（名張断層帯）が発生し、伊賀地域では震度6強を記録した。また、この結果、強震動により広範囲で、遭難者・生き埋め者等多くの人的被害のほか、家屋倒壊・土砂崩れ・孤立集落・道路や橋梁の損壊・ライフライン・幹線道路の寸断等の甚大な被害が発生している。

## 7 訓練概要

- (1) 地域住民の避難・初期対応訓練
  - ・ 自主防災組織による初動対応訓練
  - ・ 地域住民による初期消火、避難訓練
- (2) 孤立地域を想定した救助訓練、被災者・支援物資輸送訓練
  - ・ 道路啓開・障害物除去訓練
  - ・ 情報伝達訓練
  - ・ 航空機による物資の輸送訓練
- (3) 救助機関、医療機関等による即応型の実動連携訓練
  - ・ 救出チーム、医療チームが連携した救助訓練
  - ・ 航空機による医療チーム、重篤患者の搬送訓練
  - ・ 応急救護所でのトリアージ訓練
- (4) ライフライン復旧訓練
  - ・ 公共機関によるライフライン復旧訓練
- (5) 各種機関による被災者支援訓練
  - ・ 炊き出し、展示コーナーでの啓発活動

## 8 訓練参加機関

別紙のとおり

## 9 訓練の中止

- (1) 訓練当日県内に震度5弱以上の地震が観測され、県災害対策本部が継続している場合
- (2) 訓練当日名張市、伊賀市地内で震度4以上の地震が観測され、災害対策本部が継続している場合
- (3) 津波注意報または津波警報が発表された場合
- (4) 東海地震に関する情報及び警戒宣言の発表があった場合
- (5) 県内に「大雨」、「洪水」、「暴風」警報が発令されている場合
- (6) 気象警報が解除された後でも、災害対策本部が継続している場合
- (7) その他、知事が訓練中止を適当であると判断した場合
- (8) 当日6時に中止の決定を行います。

## ● 訓練参加予定機関

## 1 協力団体・企業

社団法人三重県建設業協会、伊賀市建設業協会、上野建設業組合、伊賀造園土木協力会、名張土木協力会協同組合、上野卸商業団地連合会、三重県岡波看護専門学校、名張商工会議所、伊賀市商工会、上野商工会議所、伊賀南部農業協同組合、伊賀北部農業協同組合、三重県建築物震後対策推進協議会、三重県高圧ガス地域防災協議会、社団法人三重県看護協会、社団法人三重県薬剤師会、社団法人三重県警備業協会、財団法人三重県消防設備保守協会、社団法人三重県身体障害者福祉連合会、社会福祉法人三重県社会福祉協議会、社会福祉法人名張市社会福祉協議会、社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会、伊賀広域防災アマチュア無線連絡協議会、社団法人日本アマチュア無線連盟三重支部、社団法人日本自動車連盟三重支部、三重県レッカー事業協同組合、イオンリテール株式会社東海カンパニー、三重県電波適正利用推進協議会、財団法人中部電気保安協会、三重県木材組合連合会、三重県獣医師会、上野都市ガス株式会社、上野ガス株式会社、名張近鉄ガス株式会社、伊賀鉄道株式会社、三重県石油商業組合、株式会社キタモリ、株式会社タカミ、名張市上下水道協同組合、伊賀市上下水道協同組合、斉藤防災株式会社三重支店、株式会社ミエ安全、株式会社アドバンスユープ、伊賀上野ケーブルテレビ株式会社、社団法人伊賀医師会、社団法人名賀医師会、NPO法人なばり総合型地域スポーツクラブ、株式会社NHKプラネット中部支社

## 2 ボランティア団体等

災害救援ひのきしん隊三重県教区隊、社団法人ジャパンケネルクラブ、NPO法人災害救助犬ネットワーク、NPO法人日本レスキュー協会、社団法人三重県隊友会、三重大学美し国おこし・三重さきもり塾、NPO法人伊賀流いきいきプランさちの会、NPO法人伊賀の伝丸、なばりNPOセンター、NPO法人みえ防災市民会議、日本赤十字社三重県支部救護ボランティア

## 3 指定公共機関

郵便事業株式会社東海支社、西日本電信電話株式会社三重支店、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海支社三重支店、日本赤十字社三重県支部、中部電力株式会社三重支店、中日本高速道路株式会社名古屋支社

## 4 指定地方公共機関

社団法人三重県医師会、社団法人三重県トラック協会、社団法人三重県エルピーガス協会、三重テレビ放送株式会社

## 5 国機関等

陸上自衛隊第33普通科連隊、陸上自衛隊航空学校、陸上自衛隊第10師団、陸上自衛隊第10後方支援連隊、陸上自衛隊第10施設大隊、陸上自衛隊第10飛行隊、航空自衛隊中部航空方面隊、航空自衛隊白山基地、航空自衛隊第1警戒群笠取山分屯基地、海上自衛隊横須賀地方総監部、自衛隊三重地方協力本部、中部管区警察局三重県情報通信部、第四管区海上保安本部、東海農政局三重農政事務所、津地方气象台、中部地方整備局、近畿地方整備局、三重大学医学部附属病院

## 6 地方行政機関等

三重県警察本部、三重県消防協会、三重県消防長会、三重県内消防相互応援隊、名張市、名張市地域づくり組織（名張市自主防災組織）、伊賀市、河合地域住民自治協議会、鞆田自治協議会、玉滝地域まちづくり協議会、丸柱地域まちづくり協議会、名張市消防本部、伊賀市消防本部、宇陀広域消防組合消防本部、名張市消防団、伊賀市消防団、三重県総合医療センター、伊賀市立上野総合市民病院、名張市立病院、三重県

## 平成23年度中部ブロックDMAT実働訓練の開催について

### 1 目的

大規模災害が発生した際、中部ブロック各県DMATが緊密な連携を図り、被災地における緊急治療、病院支援、広域医療搬送等を迅速に行うことができるよう実践的訓練を実施する。

### 2 参加団体

中部ブロック各県（9県）DMAT 計38チーム、196名（現時点の予定数）  
（富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）

### 3 実施日時

中部ブロックDMAT実働訓練は2日間の2部構成とし、2日目については、三重県総合防災訓練他との同時開催とする。

【1日目】9月3日（土）17時00分～18時00分

【2日目】9月4日（日） 8時30分～13時00分

### 4 実施場所

【1日目】：三重大学医学部附属病院

【2日目】 ①名張市名張中央公園 ※  
②名張市立病院（被災地内二次救急医療機関）  
③伊賀市阿山運動公園 ※  
④三重大学医学部附属病院（災害拠点病院）  
⑤三重大学グラウンド（SCU設置場所）  
※ ①と③の会場は県総合防災訓練と同会場。

### 5 訓練内容〈訓練の基本イメージ〉

1日目は、情報伝達訓練、参集訓練、講演会を実施し、2日目は、上記①～⑤の5会場において実働訓練を実施する。

#### ◆名張中央公園会場・伊賀市阿山運動公園会場

- ・災害現場での負傷者の救出、救助、搬送トリアージ
- ・現地医療救護所での治療トリアージ
- ・負傷者の被災地内二次救急医療機関等への搬送（ヘリ、救急車等）

#### ◆名張市立病院会場

- ・被災地内二次救急医療機関での患者受入、治療トリアージ

#### ◆三重大学会場

- ・災害拠点病院での患者受入、治療トリアージ、SCUへの搬送

※訓練中止の決定は、県総合防災訓練に準じて判断する。